

令和3年度事業報告書

学校法人 開新学園

開新高等学校

熊本工業専門学校

ながみねこども園

ながみね乳児保育園

事業報告書

1 法人の概要

(1) 設置する学校・学科・定員・現員数

① 開新高等学校

(単位 人)

学 科 名	学 則 定 員				新年度員数(R 4. 5. 1 現在)			
	1 年	2 年	3 年	計	1 年	2 年	3 年	計
土 木 建 築 科	80	80	80	240	80	68	72	220
電 気 情 報 化	80	80	80	240	89	58	61	208
自 動 車 科	80	80	80	240	88	54	69	211
機 械 科	80	80	80	240	77	40	67	184
総 合 学 科	80	80	80	240	102	70	74	246
普 通 科	100	100	100	300	89	79	87	255
計	500	500	500	1500	525	369	430	1324

② 熊本工業専門学校

(単位 人)

学 科 名	学 則 定 員			新年度員数(R 4. 5. 1 現在)		
	1 年	2 年	計	1 年	2 年	計
自動車整備工学科	80	80	160	35	37	72
電気システム科	40	40	80	23	13	36
機械システム科	40	40	80	5	10	15
日 本 語 科	40	40	80	45	0	45
計	200	200	400	108	60	168

③ ながみねこども園

(単位 人)

内 訳	定員	新年度員数 (R 4. 5. 1 現在)		
		1 号	2 号	3 号
0 歳児				1 4
1 歳児				1 9
2 歳児				1 8
3 歳児		5	2 7	
4 歳児		5	2 7	
5 歳児		5	2 7	
計	135	1 5	8 1	5 3

④ながみね乳児保育園

(単位 人)

内 訳	定 員	新年度員数 (R 4.5.1 現在)
0 歳児	—	3
1 歳児	—	7
2 歳児	—	6
計	1 9	1 6

2 役員の概要

区 分	内 訳	現員数	備 考
理事・評議員	学識経験者（含理事長）	3	寄付行為6条1項3号 2名 " 6条2項3号 1名
	校 長 ・ 法 人 職 員	1	" 6条1項1号
	法 人 職 員	1	" 6条2項1号
	卒 業 生	2	" 6条2項2号
	育 友 会	1	" 6条2項4号
	元 育 友 会	1	" 6条2項5号
評 議 員	法 人 職 員	4	" 22条1項1号
	卒 業 生	3	" 22条1項2号
	学 識 経 験 者	1	" 22条1項3号
	育 友 会	2	" 22条1項4号
	元 育 友 会	2	" 22条1項5号
監 事		2	" 8条1項

3 教職員の概要（R 4.5. 1）

① 開新高等学校

区 分	職 名	人 員	備 考
教 職	教 諭	6 5	
	養 護 教 諭	1	
	常 勤 講 師	3 3	
	専任実習助手	4	
	実 習 助 手	0	
	カウンセラー	1	
	英語指導助手	0	
	非 常 勤 講 師	5	
事 務 職	専 任 事 務	9	

	常 勤 事 務	5	
そ の 他	嘱 託	0	
	守 衛	1	
	用 務 員	1	
	計	1 2 5	

② 熊本工業専門学校

区 分	職 名	人 員	備 考
教 職	教 官	7	
	教官（常勤講師）	8	
	助 手	4	
	非 常 勤 講 師	1 3	
事 務 職	専 任 事 務	1	
	常 勤 事 務	3	
	計	3 6	

③ながみねこども園

区 分	職 名	人 員	備 考
技 術 職	副 園 長	1	
	専任主任保育教諭	2	
	専 任 保 育 教 諭	1 0	
	常 勤 保 育 教 諭	1 2	
	非常勤保育教諭	7	
	常 勤 准 看 護 師	1	
	専 任 調 理 師	2	
	常 勤 調 理 師	1	
	常 勤 栄 養 教 諭	0	
事 務 職	専 任 事 務	1	
	計	3 7	

④ながみね乳児保育園

区 分	職 名	人 員	備 考
技 術 職	専任主任保育士	1	
	専 任 保 育 士	3	
	常 勤 保 育 士	2	
	非常勤保育士	1	
	非常勤調理師	4	
事 務 職	常勤事務	0	
	計	1 1	

4 令和3年度事業報告（概要）

開新高等学校の入学者は近年安定し、令和2年度は509名と定数以上の入学者を確保したが、令和3年度の新入生は398名と前年に比べ100名を超える大幅減となった。この流れが継続し学校運営の基盤低下に繋がらないよう、令和3年度は入学者数を回復するため、教職員一丸となり様々な対策を強力に実施し、令和4年度は、定数を大幅に超える入学者を確保できた。しかし、転退学者数は、依然高位で推移し注意が必要。又、文科省のギガスクール構想に基づくICT教育推進体制の充実化を図るための教材機材の導入を積極的に進めた。

熊本工業専門学校は、学生数の減少が回復せず赤字経営が継続している。理事会で再三指摘があり、令和3年度も、職員一丸となり広報の強化や県内高等学校訪問、更には県外の日本語学校を訪問しPR等を実施したものの、学生数増加には繋がらなかった。但し、日本語学科においては、コロナ規制の緩和により、令和4年度は留学生の大幅増となる見込みとなった。

ながみねこども園、ながみね乳児保育園に関しては、経営は順調に推移している。又、令和3年度も、コロナ禍における園児の安全性確保に一層の注力を注ぐと共に、保護者との関係を重視した取り組みを行った。

■ 学園の取組み

時代の流れに即応した経営方針の構築

- ・ 施設整備の充実
 - ICT教育の環境整備・新しい機械設備の充実
- ・ 広報活動の強化
 - 広報手法の再構築
- ・ 魅力ある学校経営の推進
 - 教育・生徒指導体制、内容の充実
- ・ 信頼と感謝の学校運営
 - 生徒・保護者・地域住民と教職員との信頼関係
- ・ 地域貢献の推進
- ・ 学校評価制度の活用
 - 進学・就職実績・教育指導の評価、活用

■開新高等学校

① 魅力ある学校づくり

- (ア) 施設整備の充実・新しい教材設備の充実
 - ・ I C T教育等の充実、強化
- (イ) 学力の充実
 - ・ 進学率の向上
 - ・ 進学進路指導の徹底
 - ・ カウンセリングの充実
- (ウ) 就職指導の徹底
 - ・ 学力向上、技能向上の指導
 - ・ 各種免許取得指導
 - ・ キャリア教育の充実
 - ・ カウンセリングの充実
- (エ) 国際交流学習の促進 ・ 姉妹校との交流促進
- (オ) 教職員の研修体制の充実
 - ・ 教育力の向上
 - ・ 指導力の向上
 - ・ 自己啓発の推進
- (カ) クラブ活動の奨励
 - ・ 健全な身体の育成
 - ・ 健全な精神の育成
 - ・ コミュニケーション能力の育成

② 健全な心身の育成

- (ア) 自主独立の精神
- (イ) 人間尊重の精神
- (ウ) 誠実で勤勉な態度

③ 保護者との連携

- (ア) 積極的な学校活動への参加
- (イ) 生徒指導の連絡・情報の連携
- (ウ) 家庭訪問指導

④ 地域連携

- (ア) 地域社会への貢献
- (イ) ボランティア活動への積極的な参加
- (ウ) 学校開放

■ 熊本工業専門学校

- ① 学生募集の充実（最重要課題）
 - （ア）留学生の確保（日本語科）
 - ・ 斡旋機関（ベトナム・ネパール）との連携強化
 - ・ 東南アジア（上記2ヵ国以外）との交流
 - （イ）本科学生の確保
 - ・ 留学生の確保（他県日本語学校との連携強化）
 - ・ 本県高等学校訪問の強化（管理職の同行等）
 - （ウ）広報活動の充実・強化（テレビ・熊日新聞・YouTubeの活用）
- ② 「熊工専リニューアル計画」の具体的実施（令和3年度）
 - （ア）A I（人工知能）教育の実施（令和3年10月開始）
 - （イ）ドローンの実践（令和2年5月開始）
 - （ウ）SNS（Facebook）の活用による学校宣伝
 - （エ）留学生の日本語能力の向上（本科での日本語授業） 等
- ③ 各科の特色づくり
 - （ア） 企業実習の実施（職員及び学生）
 - （イ） 営業の出来る技術者養成
- ④ 職業教育の質向上（職業実践専門課程の充実）

■ ながみねこども園・ながみね乳児保育園

教育・保育方針

- ・ 興味や探究心を大切にし、集中力や学習力を育てます。
- ・ 相手の気持ちを思いやる心、譲り合う心を育てます。
- ・ 達成感を味わわせ、前に進む気力を育てます。
- ・ のびのびと遊びたくなる環境を整え、健全な身体の発育を促します。
- ・ 栽培活動を通して食への感謝の気持ちを育てます。